

酪農部は、令和6年1月18、19日に東京都品川区で開催された第7回和牛甲子園（全国農業協同組合連合会主催）に本校で飼育する黒毛和種「黒男4（くろお4）」号とともに参加してきました。

和牛甲子園は全国で畜産を学ぶ農業高校生が集い、和牛飼育に関する様々な研究などを発表する「取組評価部門」と、出品牛の肉質を評価する「枝肉評価部門」で和牛の飼育技術を競います。今回の大会には全国から41校59頭の出品がありました。

中央農業高校酪農部は「和牛でつなぐ地域の環～地域と共存した和牛飼育実現に向けて～」というテーマで和牛飼育に取り組み、①悪臭軽減に向けた研究②畜産教室の開催③えびな支援学校と連携した農福連携への取り組み④アマニ油脂脂肪酸カルシウムの利用による牛のメタンガス軽減による温暖化への取り組みを7分の動画にまとめて提出しました。様々な視点で和牛飼育に取り組む点が評価され、取組発表部門で全国2位にあたる優秀賞を獲得しました。

また、出品した「黒男4号」は枝肉重量が555kg、肉質の最高等級であるA5ランクを獲得し、これまでの中央農業校の飼育牛の中で最高の成績となりました。枝肉は東京都中央卸売市場食肉市場に出され、1kgあたり3016円で綾瀬市に営業所を持つ食肉卸業のスターゼン㈱に落札されました。今後、県内の小売店で販売を予定しているとのことで、詳細が決まり次第本校のHPに掲載予定です。

